

ロービングウォール®工法 PAT

「長繊維混入補強土一体緑化工法」

NETIS QS-000021-V

建設技術審査証明(砂防技術)第 0303 号

ロービングウォール工法 PAT

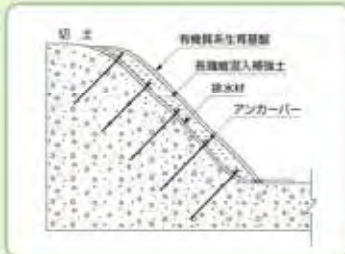
長繊維混入補強土一体緑化工法

ロービングウォール工法は、その造成断面形状及び使用資材の組合せから法面保護タイプ・擁壁タイプ・法面安定タイプの3種類に区分されます。工法選定に際しては、施工対象の法面勾配などの条件により、下記に示す条件に基づいて選定・適用します。

法面保護タイプ

1:0.5より緩い法面勾配
造成厚さ20cm

【建設技術審査証明取得範囲】



擁壁タイプ

1:0.5未満の急な法面勾配
擁壁形状で造成

【建設技術審査証明取得範囲】



法面安定タイプ

専用アンカー受圧板を相込んだタイプ
造成厚さ20cm



工法概要

当工法は、砂・セメントの混合物に長繊維をエアの圧力により強制的に混入した土構造物と、その土構造物表面を厚層基材吹付工などで緑化する2種類からなる工法の一体施工する工法であり、補強土工と植生工とを組み合わせることによる景観に優れた斜面安定工法です。

その造成断面形状及び使用資材の組合せから法面保護タイプ、擁壁タイプ、法面安定タイプの3種類に分類されます。

施工フロー



施工状況

特長は以下のとおりです。

長繊維混入補強土は、疑似粘着力とせん断強度が増加し、耐侵食性に優れた補強土を造成します。
長繊維混入補強土は、土構造物であり、フレキシブルで様々な形状ののり面に対応し、既存の樹木を
残存させるなど、地形を改変することなく、保護することが可能です。
造成された補強土は貧栄養であり、有機質に富む表面緑化工と一体化して自然土壌条件に近い形態と
なり、樹木の生育に適した質の高い環境を提供することができます。
長繊維をエアの圧力で搬送することで、最大 160mの長距離圧送を可能とし、施工性に優れています。

施工事例

災害復旧の事例（福岡県太宰府市）



施工前



施工 1 年後

既設モルタル吹付面の再緑化の事例（福岡県前原市）



施工前



施工 6 ヶ月後

現場発生表土（埋土種子の利用事例（奈良県）



施工前



施工 6 ヶ月後

長繊維緑化協会

九州支部 〒812-0043 福岡県福岡市博多区堅粕 1-28-44 ライト工業(株)九州支店内

TEL . 092-651-4331 FAX . 092-632-2091

URL . <http://www.choseni.org> E-mail . choseni@aurora.ocn.ne.jp